

人的資本戦略

事業をけん引する多様な人材の共創・挑戦(先んじて、未来を創る!)

新たな事業領域の電動化・DX・グローバルをけん引する人材を確保するとともに、その人材が主体的な共創・挑戦を生み出す人・職場づくりを推進します。そのために、会社のニーズと従業員のニーズのベクトル合わせを従来以上に丁寧に、個と組織が一体となり、双方の成長に貢献しあう関係をつくります。

① 電動化製品への人材シフト・育成

2025年の電動ユニット450万台生産体制確立に向け、開発・生産技術の1,500人を2023年度までに電動化領域にシフトすることを目標にしています。加えて、2025年にはパワートレイン開発人員の95%を電動化要員にすることを掲げ、リススキル等を実施し、既に7割近い人員の重点領域へのシフトが完了しています。

② 全員参加のDX推進

アイシンでは、自動車業界の変革期を乗り切るためにDXによる業務の本質的なスクラップ&ビルドを加速していきます。

③ グローバル事業を支える人材の育成

全世界のお客様の期待にタイムリーに応え続けるため、アイシン特有の幅広い事業領域と高い専門性を最大限発揮できるようグローバルでの人材育成を実施しています。

海外法人の幹部層については、幹部(副社長以上)におけるローカル従業員比率を2030年までに40%とすることを目標に掲げて活動を推進しており、現在海外法人の幹部(部長級)におけるローカル従業員比率は過去5年間の比率は上昇しており、今後ともグループ会社も含め計画的な育成・登用を継続していきます。

① 電動化製品への人材シフト・育成に関する主な取り組み

電動化領域の開発力強化	電気基礎、モーター基礎、専門スキルを短期間で習得できるよう、業務と切り離し学習に集中できる環境を整備し、育成。
生産技術力強化	ハイブリッドユニットの分解・組立等、実技に重点を置く教育を実施。新人も即戦力として電動化業務に携わることができるように教育を実施。
技能系従業員育成強化	専門の教育体系を構築。電動化製品は技術進化のサイクルに追従できるよう、2021年度は基礎教育を整備し、2022年度以降も技術進化に対応した、電動化製品生産に特化した教育を整備。
専門組織の設置	アイシングループの強みを生かした車両全体でのBEV向け商品の拡充をねらいに、トップ直下にEV推進センターを設置。最高責任者にCESO(Chief Electric Strategy Officer)を任命。
カンパニー人事の設置	変化の激しい電動化領域の人事課題に対し、事業と連携してスピーディに対応できるよう、パワートレインカンパニーに人事機能を設置。

② 全員参加のDX推進に関する主な取り組み

従業員向け教育の実施	AI、IoTに関する基礎知識を体系的に整理したアイシン独自の教育コンテンツを全部門の従業員に提供。2021年度はDXの基礎知識「DXビギナーズ/パッケージ教育」を約12,000人の従業員が受講し、2022年度はグループ会社にも展開予定。
AI人材獲得、育成	東京、愛知、福岡の地域に拠点を構え、専門性を生かし、やりがいを持って働くことができる体制づくりを推進。2025年までにAI人材をグループ全体で約1,400人とする目標を掲げ、AI関連の教育には年に2億円以上を投資。
専門組織の設置	DXを強力に推進するために、DX戦略センターを設置。最高責任者にCSDO(Chief Software & Digital Officer)を任命。

③ グローバル事業を支える人材の育成に関する主な取り組み

グローバルリーダー育成	選抜人材に、高い人間力・視座と経営視点を持ちながら前例に捉われない新たな価値創造ができるよう、経営知識の習得やタフアサインメント等を行う教育を実施。また、経営上影響度の大きい国内・海外拠点重要ポストへの積極的な抜擢を推進。
海外経営幹部育成	全海外拠点の経営幹部ポストへの最適配置「適所適材」をめざし、海外ポストをグローバル共通指標で見える化し、重要ポストを明確化する「AG2(アイシングループグローバルブレイディング)」を導入。加えて、重要ポストへのローカル従業員の登用の加速をねらい、「Succession Plan」を策定し、計画的な育成を実施。 また、全海外拠点のトップ層に向け、事業基盤の機能全般の基本知識・判断基準を理解し、経営者に必要な役割、認識を高める教育を実施。
スタッフ職・技能職人材の育成	海外拠点のローカル従業員を日本本社で最長3年間受け入れ、海外拠点の自立化に向けた育成や、海外拠点のプロジェクト推進支援を実施。 技能者育成では、中国やタイでアイシン学園を設立し、リーダー層を中心に育成を実施。これまでに日本のアイシン学園で受け入れた海外からの研修生:11ヵ国34拠点418名、中国のアイシン学園:185名。2022年5月からタイにアイシン学園を設立、開始。 さらに日本のアイシン学園では海外拠点のキーマン育成強化に向け、「管理監督者コース」を設置。また、電動化への対応においては、海外でも日本と同等の教育体系を構築し、アイシンの電動化製品の競争力向上に寄与する人材育成を推進。その他、新技術・技能の育成施策に対し生産準備メンバーと協業して教育環境や教育ツールの整備、教育カリキュラムの作りこみを実施。